



感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2022 年 第 8 週 (2月21日~2月27日)

<全数把握対象疾患の患者情報>

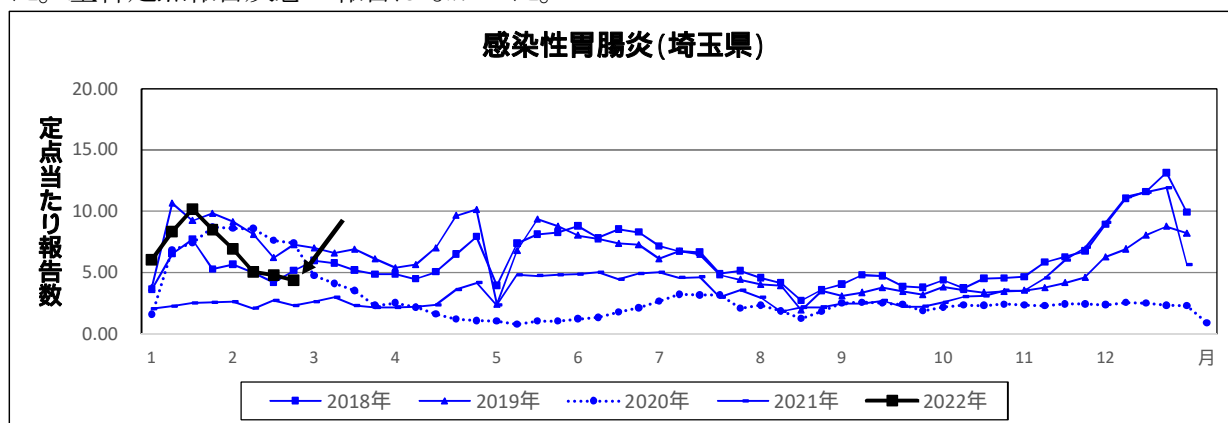
一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症 レジオネラ症	1 人 病型 肺炎型
五類感染症 急性脳炎	1 人 病原体 不明
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 無症状病原体保有者
梅毒	11 人 病型 早期顕症Ⅰ期 6 人、 早期顕症Ⅱ期 2 人、 無症状病原体保有者 3 人
百日咳	1 人 年齢階級 1 歳

新型コロナウイルス感染症については、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>) 内の「陽性確認者」を参照してください。

<定点把握対象疾患の患者情報>

小児科及び内科定点把握対象疾患では、**感染性胃腸炎**(4.76→4.39:下図)の定点当たり報告数は、僅かに減少した。保健所別では、春日部(7.00→11.17)、南部(6.00→9.00)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎** 1 人、**流行性角結膜炎** 6 人の報告があった。基幹定点報告疾患の報告はなかった。



- この情報に関する御質問・御意見等ございましたら、衛生研究所 感染症疫学情報担当
TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613 e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp まで御連絡ください。
- 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-ids.html>) で御覧になれます。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第8週)

(2022年3月1日 16:00集計)

	今週 届出	累 計	2021年 累計		今週 届出	累 計	2021年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ベスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核 * 1	-	-		鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢				パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症		2	136				
四類感染症							
E型肝炎		1	36	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ*(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎			2	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサナル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			2
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	1	6	99
つつが虫病			3	レプトスピラ症			1
デング熱				ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢		1	20	侵襲性肺炎球菌感染症		7	57
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			10	水痘(入院例に限る)		2	15
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		6	95	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			1	梅毒	11	49	287
急性脳炎	1	3	20	播種性クリプトコックス症			10
クリプトスポリジウム症				破傷風			3
クロイツフェルト・ヤコブ病		2	4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		6	30	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			
後天性免疫不全症候群	1	4	28	百日咳	1	4	49
ジアルジア症			4	風しん			1
侵襲性インフルエンザ*菌感染症			6	麻しん			1
侵襲性髄膜炎菌感染症				薬剤耐性アシネトバクター感染症			
新型インフルエンザ等感染症				新型コロナウイルス感染症 * 2			

累計は診断日で集計

* 1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

* 2 県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者」を参照してください。

感染症発生動向調査週情報 報告患者数 年齢別 (2022年第8週 2月21日～2月27日)

	年齢別																			
	合計	-6ヵ月-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
RSウイルス感染症	3	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	6	-	1	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	-	-	-	2	1	4	3	2	4	2	1	3	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎	702	5	37	103	82	82	73	60	46	36	31	24	60	6	57	-	-	-	-	
水痘	12	-	-	-	2	2	3	-	1	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	
手足口病	5	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	34	1	10	18	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
合計	-6ヵ月-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	2	-	-	-	
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第6週 (2月7日～2月13日)

令和4年3月2日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は岡山県(0.08)、茨城県(0.06)、沖縄県(0.04)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は2例と前週と同値であった。都道府県別では2都道府県から報告があり、年齢別では0歳(1例)、60代(1例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(2.64)、富山県(2.14)、熊本県(1.46)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は富山県(0.79)、石川県(0.48)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(3.32)、長崎県(1.52)、福岡県(1.07)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(14.03)、愛媛県(8.95)、鹿児島県(7.87)である。手足口病の定点当たり報告数は第47週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鳥取県(1.63)、福井県(1.13)、島根県(1.04)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(0.16)、福井県(0.09)、山形県(0.07)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福井県(0.17)、新潟県(0.11)、熊本県(0.10)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は徳島県(0.09)、鹿児島県(0.08)、青森県(0.07)である。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では茨城県(0.17)、千葉県(0.11)、東京都(0.04)から報告があった。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。3都道府県から3例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(1例)、10代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan2022年 第6週(2月7日～2月13日): 通巻第24巻 第6号より

<関東情報>

		2022年 06週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	37	9	7	-	-	-	1	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	0.06	-	-	-	0.00	-	0.00
RSウイルス感染症	報告数	824	23	1	11	5	1	-	4	1
	定点当たり	0.26	0.02	0.01	0.23	0.09	0.01	-	0.02	0.00
咽頭結膜熱	報告数	409	41	2	5	4	5	3	12	10
	定点当たり	0.13	0.04	0.03	0.10	0.07	0.03	0.02	0.05	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	997	127	11	17	1	24	20	21	33
	定点当たり	0.32	0.14	0.15	0.35	0.02	0.15	0.15	0.08	0.15
感染性胃腸炎	報告数	14,269	4,216	337	153	284	775	584	1,246	837
	定点当たり	4.55	4.51	4.49	3.19	5.26	4.94	4.49	4.98	3.80
水痘	報告数	180	49	3	-	3	12	5	11	15
	定点当たり	0.06	0.05	0.04	-	0.06	0.08	0.04	0.04	0.07
手足口病	報告数	422	76	1	12	10	4	8	25	16
	定点当たり	0.13	0.08	0.01	0.25	0.19	0.03	0.06	0.10	0.07
伝染性紅斑	報告数	38	9	-	-	-	6	1	2	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.04	0.01	0.01	-
突発性発しん	報告数	716	201	7	17	14	44	17	55	47
	定点当たり	0.23	0.22	0.09	0.35	0.26	0.28	0.13	0.22	0.21
ヘルパンギーナ	報告数	69	11	-	-	-	-	4	1	6
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	0.03	0.00	0.03
流行性耳下腺炎	報告数	54	23	-	-	3	3	3	6	8
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	0.06	0.02	0.02	0.02	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	1	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.00	0.00	-	-	-	0.03	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	83	27	2	-	4	2	3	3	13
	定点当たり	0.12	0.13	0.12	-	0.29	0.05	0.09	0.08	0.25
細菌性髄膜炎 #2	報告数	6	2	1	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	0.08	-	-	-	0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	4	4	2	-	-	-	1	1	-
	定点当たり	0.01	0.05	0.17	-	-	-	0.11	0.04	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

感染症発生動向調査 2022年

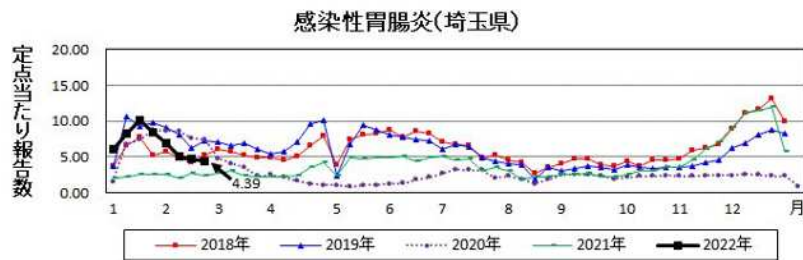
- [感染症の流行状況 2022年第1週](#)
- [感染症の流行状況 2022年第2週](#)
- [感染症の流行状況 2022年第3週](#)
- [感染症の流行状況 2022年第4週](#)
- [感染症の流行状況 2022年第5週](#)
- [感染症の流行状況 2022年第6週](#)
- [感染症の流行状況 2022年第7週](#)

感染症の流行状況 2022年 第8週

2022年第8週（2月21日～2月27日）の要点 令和4年3月2日

[感染性胃腸炎](#)の定点当たり報告数は、わずかに減少しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [COVID-19\(新型コロナウイルス感染症\)に関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	↓	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

